



頭のツボにふれて、
緊張を緩めます。



先生より背中
のツボを
教えて
いただ
いて
いま
す。



令和3年度第2回「健やか生活応援講座」を 開催しました！

令和4年2月12日（土）、「免疫力を高めるセルフケア～知りたい！整体ってなんだろう？」をテーマに、整体師の笹尾隆一氏をお招きして「健やか生活応援講座」を開催しました。

健康に関心のある30名の方が参加され、風邪や肺炎などの感染症に備えて免疫力を高める方法のひとつとして、整体を通じて簡単に誰にでもすぐに取り組めるセルフケアの方法について実技を交えて、お話をいただきました。

講座では、冷え症や不眠の改善、お酒を飲む前に体を整える方法、緊張をほぐすための方法などを分かりやすくご説明いただきました。特に病気の傾向を体質ごとに分類し、その体の癖を先生が演じて解説する場面では、参加者が興味深く聞き入り、とても楽しく有意義な講座になりました。

レファレンス日誌から 第14回

～ 「調査に便利なデータベース」の巻 ～



春は、進学や進級などで、新しい生活がはじまる季節です。

当館では、レポートや論文を書く大学生、大学院生をはじめ、課題研究をする高校生からの質問が寄せられることが少なくありません。

はじめてレポートを提出する場合は、まず何をどのように調べたらいいのか、どんな資料本を参考にすればいいのかわからないことばかりではないでしょうか。最近では、インターネットで調べるといのが身近な調査方法となってきたように思います。今回は、そんな時に便利な「レファレンス協同データベース」をご紹介します。

「レファレンス協同データベース」とは、国立国会図書館が運営する調べ物の参考になるデータベースで、全国の870館を超える様々な図書館が参加し、実際に寄せられた質問に対する調査事例を登録しています。登録されている事例は、図書館が自館の資料等を使って調査した結果ですので、最寄りの図書館で同じ資料を閲覧するなど、参考になる資料を確認することができます。

当館も香川県に関することや、暮らしに役立つ身近な内容まで、様々な事例を登録しています。調べたいことが決まっている人はもちろん、どんなことを調べようかと迷っている方にも参考になります。

このように、多くの図書館が協力して、皆さんの調査や研究のお手伝いができるよう努めています。図書館のレファレンスサービスも、ぜひご利用ください。



レファ協キャラクター
「れはっち」



クリック！



国立国会図書館 レファレンス協同データベース <https://crd.ndl.go.jp/reference/>

*バナー及びキャラクター「れはっち」は
国立国会図書館ウェブサイトから転載

● 図書館行事報告 ●

◆子どもと本をむすぶ基礎講座◆

9月から2月にかけて、3回連続講座「子どもと本をむすぶ基礎講座」を開催しました。小林いづみさん(安田女子大学非常勤講師)を講師にお迎えし、1回目は昔話の魅力や子どもに伝えることの意義、2回目はストーリーテリング(本を使わずにおはなしを覚えて語ること)の意義とおはなしの選び方、覚え方、語り方を学びました。3回目は、実際に受講生がおはなしを覚えて語る発表会を行いました。これからもぜひストーリーテリングを続けて、子どもと本をむすぶ方が増えることを願っています。

子どもと本をむすぶ基礎講座



◆図書館コンサート◆

3月13日(日)に、「図書館コンサート」を開催しました。赤ちゃんから年配の方まで約60名が参加され、金管アンサンブル「香川プラスチェンバー」が奏でる「ドラえもん」「川の流れるように」「夜に駆ける」など、みんながよく知っている曲のリズムに合わせて体を揺らしながら聞き入っていました。

図書館コンサート



さ さ き た づ こ
 ～佐々木田鶴子さんの本～
 (1942～2016)

この本オススメです！

香川県出身の児童文学翻訳家 佐々木田鶴子さんは昭和17(1942)年生まれで、今年が生誕80年にあたります。

佐々木田鶴子さんは早稲田大学文学部を卒業後、6年間ドイツに滞在されていました。その間、ミュンヘン大学で学ばれ、ミュンヘン国際児童図書館の日本部門の設立にも関わりました。

また、ドイツ滞在中に、世界的に著名な児童文学作家のミハエル・エンデやオトフリート・プロイスラーとも親交を深めました。

帰国後、『エルマーのぼうけん』などの翻訳者として知られる渡辺茂男氏の仕事を手伝うようになったことをきっかけに、ドイツ児童文学の翻訳で活躍され、多数の訳書を残されました。



『魔法のスープ』

ミハエル・エンデ／文，ティーン／絵，ささきたづこ／訳（岩波書店）
 1991.6（請求記号：SA75-8/943/26，940/E4/5）

高い山の右と左に2つの王国がありました。両方の国に赤ちゃんが生まれ、同じ日に洗礼式がありました。でも、どちらの国からも招かれなかった魔女が意地悪な贈り物をしたことから、2つの国の間で戦争が始まって…。



『もじゃもじゃペーター』

ハインリッヒ・ホフマン／さく，ささき たづこ／やく（ほるぷ出版）
 2020.8（請求記号：J/H86/5）

「りょうてのつめは、1ねんもきらせないからのびほうだい。かみにもくしをいれさせない。うへえ!と、だれもがさけんでる…。」

1844年、ドイツの開業医ホフマンは、自分でノートに絵と詩を書き、クリスマスに3歳の息子へ贈りました。そのノートを元に出版された絵本は、世界中の子どもたちに親しまれ、歴史に残る作品になりました。



『おつかいおつかい』

佐々木田鶴子／作，木村かほる／絵（偕成社）
 1993.11（請求記号：SA75-8/913，913/S184/2）

初めて一人でおつかいに行くうさぎのミミーちゃんに、友だちが言いました。「もりにはこわいオオカミがいるよ。」森は薄暗くて、おばけがでそうです。ミミーちゃんは無事におつかいから帰ることができるのでしょうか。

佐々木田鶴子さんが初めて書いた創作童話です。

●普通寺市立図書館の新館がオープンしました！●



今年1月、普通寺市立図書館が移転オープンしました。普通寺市庁舎の2階が図書館になっています。同じ敷地内にある子ども・家庭支援センターの1階の子どもライブラリーには、約3千冊の絵本があり、貸出しできます。図書館の蔵書冊数は、約10万6千冊（うち児童書は約2万8千冊）、雑誌のタイトル数は、旧館の1.5倍の90タイトルです。自動貸出機や電子書籍なども導入され、より便利な図書館になりました！

★普通寺市立図書館長さんより一言いただきました！★

コロナ禍で出かけられる場所も限られている中で、幅広い年齢の方々が、「図書館に来れば、何かがあって、誰かがいる。」と期待を持って、ちょっとおしゃれをして来てくれるような場所になったらと思っています。

また、館長のおススメ本を集めたコーナー「館長の本棚」があります。是非ご利用ください！

一般書コーナー



閲覧室はワンフロアで、間仕切りのない解放的な構造になっています。総合案内カウンターを挟んで、左手が一般書コーナーや新聞コーナー、右手が児童書コーナーや雑誌コーナーです。静寂読書コーナー以外でのおしゃべりは自由です。

児童書コーナー



◆普通寺市立図書館の素敵な場所を紹介します！◆

一般書コーナー（郷土資料）



旧館では、閉架書庫にあった郷土資料1万冊を自由に閲覧できるようになりました！出土品の展示もあります。

読み聞かせコーナー



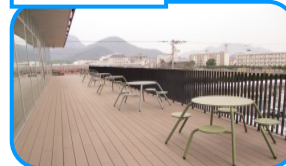
乳幼児向けの絵本を配架しています。靴を脱いで親子で本を読むことができます。このコーナーは、床が階段のようになっているので小さなお子さんにとって楽しい場所になっています！

カフェ・イベントコーナー



閲覧室内のこのコーナーでは、飲食することができます。（現在はコロナウイルス感染症予防対策で飲食ができません。）

読書テラス



五岳山が見え、景色がよいテラスでは、貸出手続きせず本が読めます。閲覧室内にも景色を楽しむ「五岳山眺望読書コーナー」があります。

<ご利用に関するお問い合わせは>

普通寺市立図書館 普通寺市文京町二丁目1番1号 TEL:0877-63-5188

編集・発行 香川県立図書館

〒761-0393 高松市林町2217-19(香川インテリジェントパーク内)

TEL 087-868-0567 FAX 087-868-0607

<https://www.library.pref.kagawa.lg.jp/>